鳥獣被害防止総合対策交付金

【令和元年度補正予算額 499百万円】

く対策のポイント>

ジビエ利用拡大を推進するため、**捕獲から処理加工段階の情報を関係者が共有できるネットワーク構築に向けた実証**を行うとともに、**処理加工施設等におけ** る人材育成、EC(電子商取引)サイトを活用したWebマーケティング等を支援。

また、CSFのまん延防止のため、野生イノシシの捕獲強化に向けた取組を支援。

く政策目標>

- 野生鳥獣のジビエ利用量の拡大
- CSF終息に向けた野牛イノシシの捕獲強化

く事業の内容>

1. ジビエ利用拡大に向けた取組を支援

情報共有ネットワークを核とした川上から川下まで繋がったジビエ利用拡大に係る取 組を支援します。

くネットワーク構築>

- 捕獲から処理加工段階の情報を関係者が共有できるシステム構築に向けた実証
- <捕獲段階の取組>
- 高度な衛生管理知識・技術を有するジビエハンターの育成を支援
- ICT罠やドローンを活用した捕獲情報の管理の取組を支援
- <処理加工段階の取組>
- ジビエ処理加丁現場でのOJT研修を支援
- ICTを活用した在庫情報管理等の効率化に係る取組を支援
- ウデ・スネなどの未利用部位を一箇所に集約して有効活用を図る実証やペット フード商品開発等を支援

<消費段階の取組>

- 異業種(ネット通販業者、旅行業者等)と連携したワークショップの開催により、 ジビエコンテンツ開発を促進
- ジビエ新規購買層拡大に向け、ECサイトを活用したWebマーケティングを展開
- 需要が見込まれるペットフード関連先(動物病院・ホームセンター等)への多 角的アプローチを実施 等

2. CSFのまん延防止に向けた捕獲強化の取組を支援

- 捕獲活動の直接支援や都道府県が実施する広域捕獲活動の展開等を支援
- ICT等を活用した効率的な捕獲活動の取組を支援

<事業の流れ>

地域協議会、民間団体等



民間団体等

く事業イメージン

〔情報共有ネットワークを核とした捕獲から消費まで繋がったジビエ利用拡大〕

システム構築に向けた実証

捕獲者 スマートフォン等のア プリ経由で捕獲情 報を報告

を管理

オンラインの マッチングサイト等



小売·飲食業者 情報を利用しやす くなり、ジビエ利用

が拡大

処理加丁施設 コンピュータで情報

処理加丁段階

◆ジビエハンターの育成

◆ICTを活用した捕獲情報の管理

(ICT罠やドローンの活用等)

捕獲段階

の取組

安定供給体制の構築や未 利用部位の活用

状態の良いジビエ向け個体の

◆処理加工施設におけるOJT人材育成の促進

捕獲から消費までのプレーヤーを広げる取組

- ◆ICTを活用した在庫情報管理等の効率化
- ◆未利用部位を一箇所に集約して有効活用を図 る実証やペットフード商品開発等



OJT研修によるスキ ルアップにより、肉の

- ◆異業種と連携したワークショップの開催により、ジビ エコンテンツ開発を促進
- ◆ECサイトを活用したWebマーケティングを展開
- ◆ペットフード関連先への多角的アプローチ

〔CSF対策としての捕獲強化の推進等〕



「お問い合わせ先]

捕獲活動の直接支援

群れごと効率的 に捕獲ができる

ICTを活用した効率的な捕獲

(ドローンの活用・遠隔操作システムによる捕獲) 農村振興局鳥獣対策・農村環境課

(03-3591-4958)